



日本共産党千代田地区委員会 暮らし・雇用相談室長
日本共産党千代田区議団 事務局長

こんにちは **牛尾こうじろう** です
耕二郎 2011年 3月20日 第30号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索 住所：千代田区岩本町 1-12-12-301 : 090-2406-7991
Eメール：k-ushio@beetle.ocn.ne.jp 事務所：千代田区神田東松下町33 : 3251-2952

神田地区に特養ホーム建設を

千代田区で特別養護老人ホーム待機者は二五〇人を超えます。増設を求める区民のみならずの願いは切実です。

先日、七〇代の男性から「特養ホーム建設を何とかお願いします」と書かれた手紙が「神田地区に特養ホーム建設を求める」署名とともに送られてきました。

この方は夫人が入院中です



特養ホーム増設を求める署名宣伝(5日)

が、病院から退院を迫られているとのこと。の特養ホームを申し込んでいますが入れない見込みが全くなく、「当面、民間施設を利用するが月に十数万円。長くは払えない。本当に困っている」と悩んでいます。

こうした切実な声にこたえることが行政の仕事ではないでしょうか。区内には、旧庁舎跡地を含め、未利用の区有地が三〇か所以上残されています。また、区の基金も六七〇億円を超えています。その気になれば建設は可能です。

いま、神田地区に特養ホーム建設を求める署名の運動を広げていきます。実現へ全力をあげます。



牛尾こうじろうの
これが言いたい!



本当に許せない暴言

メア米日本部長が学生を対象にした講演で、「沖繩の人々はごまかしと(基地問題で日本政府に対する)ゆすりの名人」などと差別的発言をおこない、激しい怒りを呼んでいます。メア氏はさらに「普天間基地は世界一危険と言われているが、沖繩県民が基地の周りに都市をつくったからだ」などと、米軍が基地建設のために国際法を無視して民有地を奪った責任を棚上げし、あたかも「沖繩県民が悪い」と言わんばかりの発言をおこないました。本当に憤りを覚えます。私が沖繩へ行ったときに聞いた米軍機の爆音は本当に耐えられない音でした。基地の苦しみを押し付けながらのこうした言動は本当に許されません。メア氏は更迭されました。しかし、基地の苦しみは残ります。こうした事を繰り返さないために、基地のない沖繩・日本を目指し頑張ります。

新保育システムで 保育はよくなるの？

保育に格差を持ち込む新システム

現在、保育料は必要な保育を保障するため、家庭の収入によって決められます。しかし「新システム」では、利用したサービスの種類と利用時間で値段が決まる仕組みになり、保育時間が長い人ほど料金が高くなってしまいます。

また、自治体は親の働く時間に応じて認定した保育時間分の補助金を出すため、認定時間を超えた保育は全額自己負担になります。

さらに、保育所が音楽や英語などの特別料金の上乗せや、追加料金で保育サー

ビスに差をつける、入学金や受験料などをとれるようにすることも



検討しています。

このようになれば、お金がなければ必要な保育が受けられなくなり、長時間

働く人ほど保育料の負担が増えます。充実した保育は金次第ということになってしまいます。子どもたちと保育のなかに格差をもちこんでいいのでしょうか。

「保育改革」の大本は財界です。日本経団連は、政府に「保育制度

「保育改革」の大本は財界の要望

の抜本改革を早急に進め」ること、「各種の規制の見直しを通じて企業の参入を促進」などの「規制緩和」で保育を企業が利益をあげられる場にすることを求めています。



企業が経営する認証保育所で、園児の昼食とおやつのお食費が一日一人あたり三十六円だったことや、経営不振で突如、撤退し子どもたちのいく場所がなくなったという例が示す通り、利益優先の保育では安心して子どもたちを預けられません。

認可保育園の増設こそ必要

安心できる保育の実現のためには公的責任をあらためて明確にし、国の自治体の責任で認可保育所の建設をすすめるべきではないでしょうか。

保育所の建設は、働く父母が増える、保育士の雇用増、施設建設で中小業へ仕事が回るなど一石二鳥の効果があります。

子育て支援拡充へ共同を大きく広げていきましょう。（終わり）

くらしの問題
何でもご相談
下さい

法律相談、生活相談を区内の法律事務所、労働組合などと連携しておこないます。

お気軽にご連絡ください。090-2406-7991 牛尾こうじろう